

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	町の防災拠点づくり	
提案グループ名	松ヶ丘自治会	
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	神奈川区松ヶ丘12番地の6	
施設整備の概要	<p>・平成14年3月に住民有志の活動の中で松ヶ丘公園ができ、さらに防災用井戸も設けました。・続いて平成24年2月には、紆余曲折がありましたが念願の自治会館を寄付と自己資金と市からの補助金でオープンすることができました。</p> <p>・そこで、まちの防災機能を高めるために、次のような施設を整備することになりました。</p> <p>① 自治会館を改修し防災備蓄用倉庫をつくる。(まち普請事業)</p> <p>〈階段上〉 倉庫面積 2.31㎡、 床面から天井まで1900mmの空間を倉庫として活用します。</p> <p>〈天井裏〉 倉庫面積 6.37㎡ 天井裏を倉庫として活用します。 (倉庫には、非常食、寝具類、かめっ子用マット・紙仏ツ、カーペット等を収納。)</p> <p>② 情報板とまちなか案内板を設置する。(自主事業)</p> <p>〈情報板〉 自治会館の玄関脇に1カ所〈まちなか案内板〉 町内に4カ所</p>	
整備助成金申請 予定額	90万円	
設計及び整備の スケジュール	平成25年8月	設計事務所に設計と設計見積の依頼
	平成26年4月	施工業者を選定し、26年度の定時総会に提案する。
	平成26年5月	施工業者と契約書を交わす。
	平成26年6月	工事開始 (工事期間 約1ヵ月弱)、6月末頃完成予定

### 2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>・災害に強いまちづくりへの取り組みとして ①要援護者が町に何名住んでいるかのアンケート調査を行い 2ヵ年で83名を登録 ②平成25年度の防災訓練を「総参加防災訓練」と位置づけ、万一の場合 体の弱い方々(赤ちゃん含む)を立ち上げて支援できる体制づくりの訓練を開始しました。</p> <p>・「松ヶ丘すくすくかめっ子」(親子のたまり場)は若いお母さん達から好評を得ており、運営スタッフには老人会の有志も参加。また、近隣神社の祭礼や子ども会の夏の行事なども、高齢者と若い世帯との交流の要として自治会館が重要な役割を果たしています。 ・世代を超えた人間関係の構築と継続が必須と考え、情報発信源として、会館玄関脇に情報板の設置を計画。これは、災害時は住民の避難場所の状況や家族の現況等の発信できる広報に活用の予定です。</p> <p>・真新しい自治会館の場所を表示して活用を促し、誰にでも安全で分かりやすい街をつくるため「まちなか案内板」の設置を計画しています。</p> <p>・これらは「まち普請事業」とは別に独自に整備することで、まちづくりの効果の向上を図ります。</p>
--	--

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>・会員で出来るところは会員で実施することにより、工事費の節減に努めます。（設計事務所積算）</p> <p>① 工事中の清掃や完成後のクリーニング等（65,400円の節減）は、会員で実施することとしました。</p> <p>② 棚の設置も会員の特技を活かし、大勢の人の手で作ることとしました。</p> <p>③ 設計監理については、会員の一級建築士が工事中の監理に当たることとしました。</p> <p>④ 毎月回覧される定例理事会の中で、当事業への取り組み状況を会員各自に逐次報告し、協力を要請しています。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>維持管理は会員の特技を活かし、清掃や備蓄品の確認等も行っています。</p> <p>① 当設備の充実は、地域防災拠点の運営委員会の活動に影響を及ぼすことは必至で、防災拠点備蓄品の内容、当会館との緊急時の連絡方法や連携の仕方などについては様々な状況を想定し、みんなで相談して実施することを確認。この度は図上訓練も実施しました。</p> <p>② 災害時には、町内にいた場合の中高生の活躍には期待が寄せられており、そのためには普段から中高生が町内行事に自主的に参加する下地作りの場として自治会館の活用を計画しています。</p>

### 3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>・平成25年6月開催の理事会で「まち普請事業」において「町の防災拠点づくり」として災害に強い町づくりを行うため、会館の一部を改修し倉庫を造ることについて提案し、承認を得て実行委員会を立ち上げました。</p> <p>・10月12日の理事・評議員会議、11月21日松ヶ丘すくすくかめっ子、11月上旬の全会員を対象としたアンケートの実施により、当事業への自治会の取り組みを会員へ周知することと、会員からの協力体制の機運づくりに注力しました。</p> <p>・アンケートの結果、会員からの要望や提案事項は「まち普請事業」であるまちづくりに反映させて行きます。</p> <p>・会館の改修の設計に当たっては、横浜市建築局建築審査課に相談の結果、現状の建築確認書の範囲内であり可能であるとの確認を得ています。</p>
--	---

### 4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>町の世帯数約1,200世帯中自治会に加入世帯数は870世帯です。会員の戸建て506世帯中要援護者が83名でこの実状を考えた時に、みんなで見守る必要を痛感し計画を作成。25年度の「総参加防災訓練」は要援護者の安否確認の実施を重点とした訓練を実施。その際重要となるのが「町の防災拠点づくり」であり、これが発災時町内に大きく貢献するものと考えました。また、発災時には若い世代の参加なくしては円滑な活動は難しく、ここに平時からの世代間交流の必要性を考えました。</p> <p>そこで、この活動を契機に会員の出入りの多くなる会館に町内文庫の復活などの新たな動きを促し、これによりこのような交流が、近隣町内にも広がるものと考えています。</p> <p>まずは自分達の町内の整備を進め、ひいては「横浜市震災対策条例」で要援護者情報が自治会に通知されることを踏まえ、連合町内会にも働きかけ大きな力の結集を図って行きたいと考えています</p>
--	---

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<p>・経費も設計見積では、通常10%のところ自治会のまちづくりを評価、その結果8%に引下げていただきました。(設計事務所の積算)</p> <p>・設計見積から削除した工事費は(監理料含む)186,800円の節減を図りました。</p> <p>・「情報板」・「まちなか案内サイン板」は自主財源で設置することとしました。</p>
--	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>自治会館2階で毎月第3木曜日開催の松ヶ丘すくすくかめっ子は、松ヶ丘はもとより他の町内からも参加があり、また、スタッフの中に老人会の会員もいることから①他の町内との交流 ②世代間交流 の場として子育て世代へ大きな役割を果たしています。このすくすくかめっ子で使用しているマット等の保管場所が1階のため不便しています。収納できる倉庫が整備されることは若いお母さん達の自治会への関心を高め、災害時には大きな役割を果たすものと考えています。</p> <p>「総参加防災訓練」は要援護者の安否確認と見守り活動及び、神奈川消防署の指導のもと防災学習することを重点としました。</p> <p>これを「町の防災拠点づくり」と連動させることで、住民の意識はおつきあい参加型からより自主積極的な参加型に変わって行き、恒常的な自助共助を促すものとなると考えています。</p> <p>この活動を通して「みんなで支え合って暮らすまち」が生まれていくものと考えています。</p>
---	---

## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>高齢化社会となり、町の人口2,541人中65歳以上が478名(20%)となっており、65歳以上の方は殆ど戸建てに住んでいる方です。これにより戸建てに高齢化が進んでいることか裏付けられました。一方、マンションや社宅には若い世代が子育てに奮闘しています。働く女性の増加で世代間交流が希薄になりつつありますが、話し相手を求める高齢者、乳幼児を抱えた若いお母さん方の子育て支援を求める声も大きくなってきています。</p> <p>自治会では平成25年度の「総参加防災訓練」を、全世帯を対象とした世代間の交流の場としたいと考えてきました。そして自治会館を「町の防災拠点づくり」と位置づけ「災害に強いまちづくり」をめざして活動を始めました。然しそれは結果的に、<b>防災のみならず連帯と交流に強い松ヶ丘づくり</b>として、万一地震が発生した場合は、町全体の力を結集して高齢者から小さな子どもまでの支援が出来る体制づくりを目指すことだったのです。今回の取り組みが、松ヶ丘全体の共助の精神力を育むキッカケとなるものと強く信じています</p>
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報はありません。

## ヨコハマ市民まち普請事業

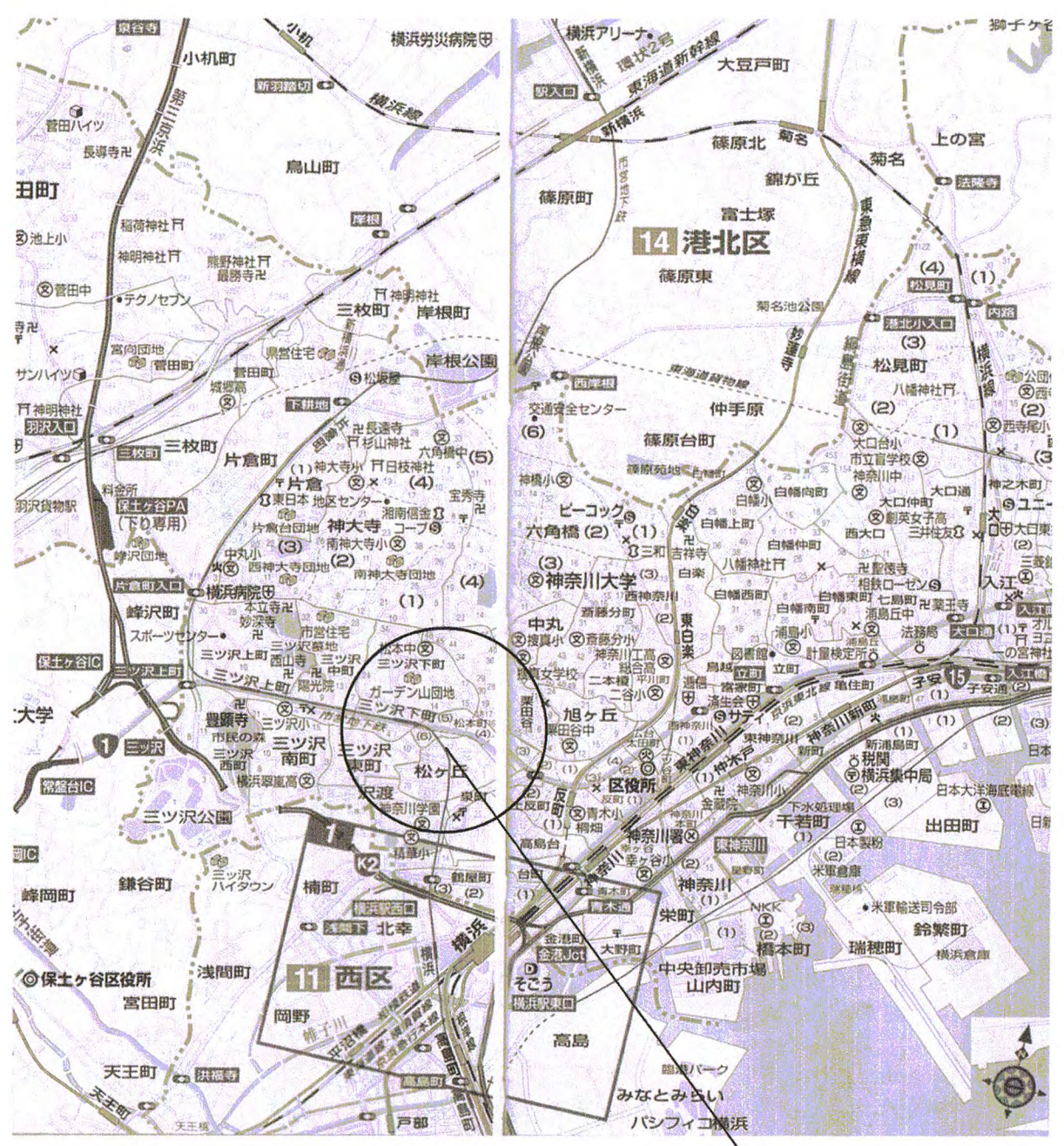
### 想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

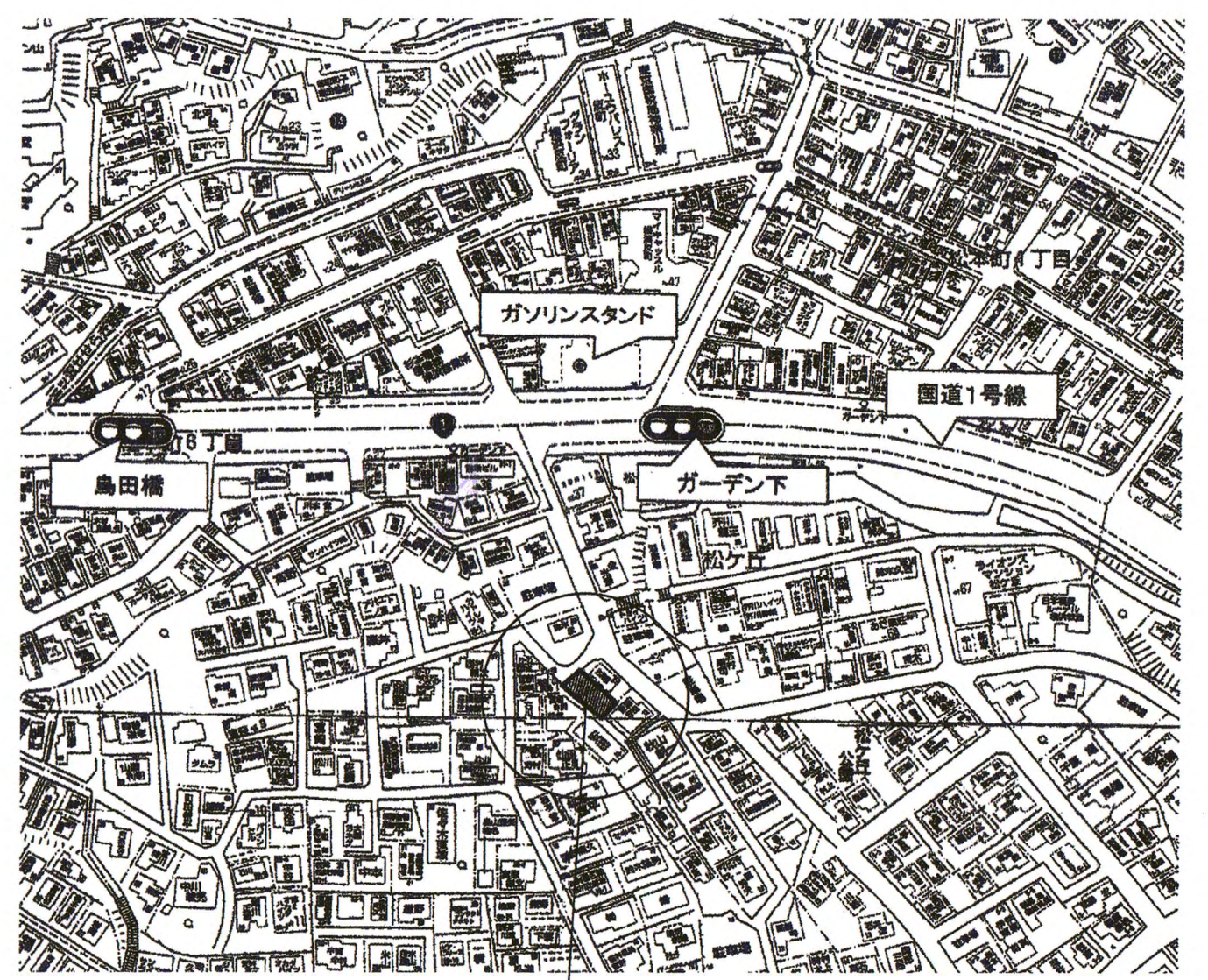
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
階段上及び天井利用の倉庫	(1) 仮設工事	一式		90,000	完成の残材処分、掃除は会員で行う
	(2) 木工費	一式		430,660	棚は完成後、会員の手で完成させる
	(3) 木製建具	一式		94,840	
	(4) 内装工事	一式		62,800	
	(5) 電気工事	一式		80,560	
	(6) 設備備品工事	一式		31,500	
	(7) 設計監理料	一式		0	監理は会員の手で行う
	(8) 諸経費	一式		69,550	諸経費も縮減に努めた。
	小計			859,910	
	消費税			68,792	8%で算出する。
	倉庫工事費合計			928,702	
費用に対する収入の予定	(1) ヨコハマまち普請事業			900,000	
	(2) 自治会負担			28,702	
	収入計			928,702	





近郊案内図



案内図

位置図 松ヶ丘自治会館  
所在地: 神奈川県横浜市神奈川区松ヶ丘12-3、12-6

工事名称 松ヶ丘自治会館 改築工事	図面名称 案内図		設計 加藤 進 一級建築設計事務所 一級建築士(建設大臣登録第261246号)加藤 進	承認	担当	図面番号
	縮尺	日付 25.08.21				



	通し柱 120×120 (集成材)
	出隅柱 120×120 (集成材)
	管柱 120×120 (集成材)
	筋違い 45×90
	筋違い 45×90 + 構造用合板 厚9
	構造用合板 厚9 (片面)
	24h換気自然給気口 100φ (鋼製防火覆い付)
	24h換気排気ファン 100φ (鋼製防火覆い付)
	換気扇 (700×370) 換気径 25cm 壁付金属フード ※700×370の場合は図面表記優先とする ※防火・準防火地域の場合はFD付とする。
	給気口100φ (鋼製防火覆い付)
	エアコン設置位置
	煙式火災報知器

サッシ表記		
サッシ記号	呼称	ガラス記号
F	FIX窓	A... 網入ガラス (6.8mm)
T	開すべり出し窓	ト... 透明ガラス
T	開すべり出し窓 (ハット型)	カ... 型ガラス (7mm) 3A
U	内開し窓	ベ... ペアガラス
S	すべり出し窓	
A	上げ下げ窓	
R	ルーバーサッシ	M... 面格子

※RHは、床面よりサッシ上端内法を示す  
※特記のないサッシはRH=2000とする

※防火・準防火地域の外壁に面する開口部は  
全て防火戸 (大臣認定品) とする。

小置庫収納の境目 (最高天井高さ1400以下)

許容面積	$53.55 \times 1/8 = 6.69$
有効面積	$2.510 \times 2.275 + 0.91 \times 0.725 = 6.37$
	$6.69 > 6.37 \therefore \text{OK}$

特記事項

特記なき出入口は設置無しとする

階段手摺の寸法は壁面より100mm以下とする

ドアは換気対応製品 (下端隙間約10mm) とする

建具・設備機器は全てF☆☆☆☆とする

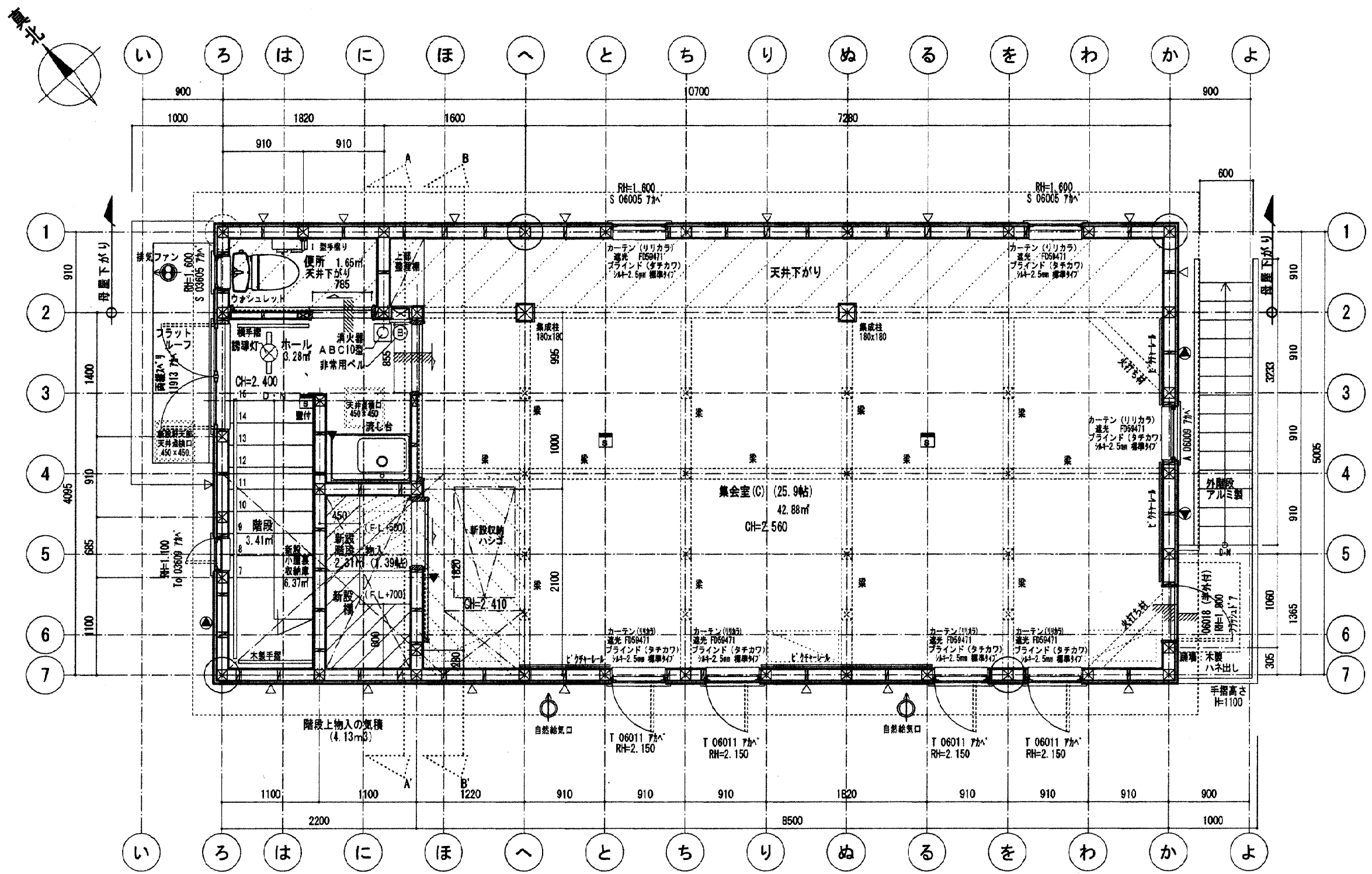
流し等は耐水石膏ボードを使用

コンロと壁面とは15cm以上離し、上部80cm以上  
100cm未満 (80cm未満は設置不可) のフード・  
吊戸棚は不燃材等による有効な仕上げとする

シックハウス換気システムは、24時間運転とする

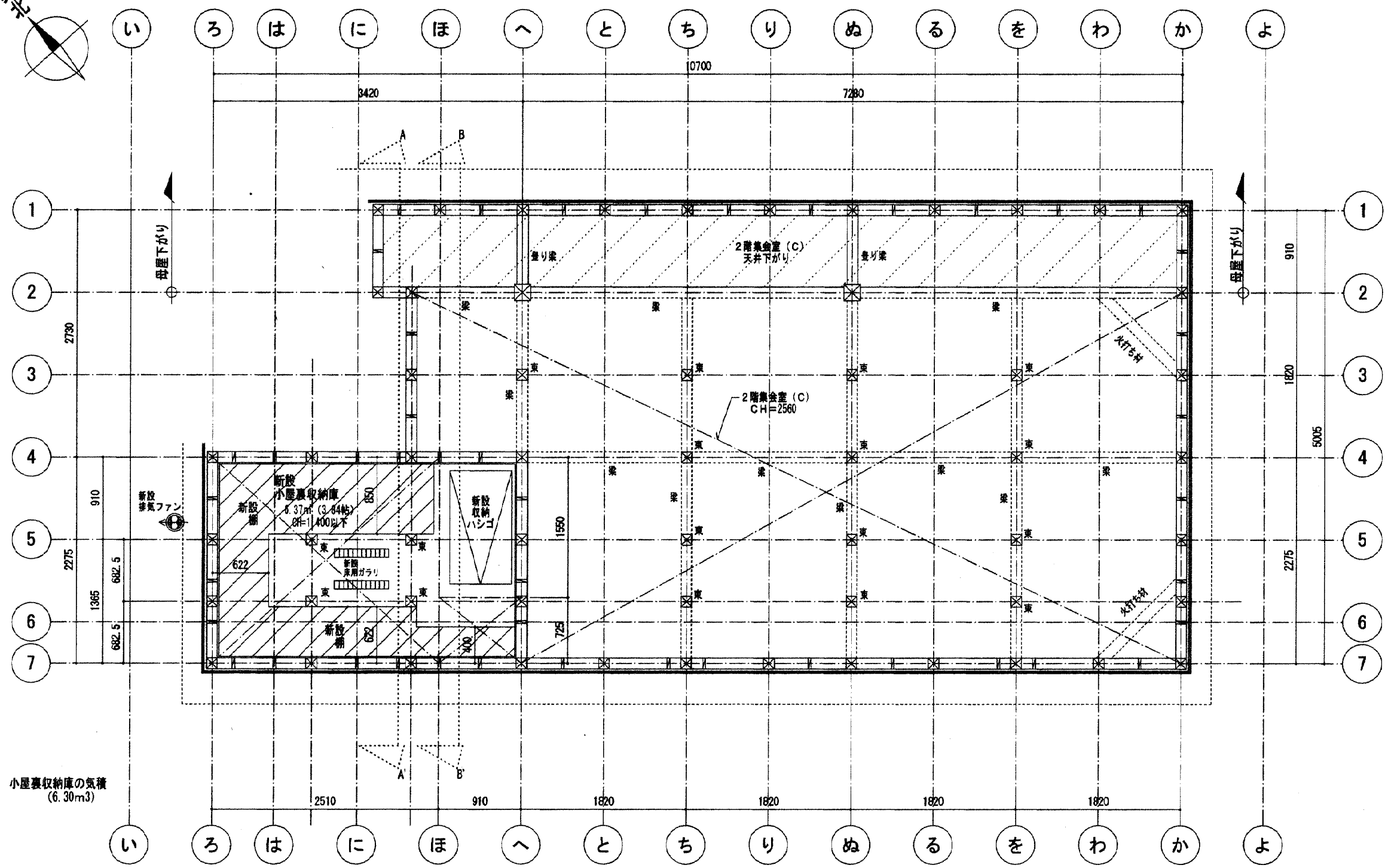
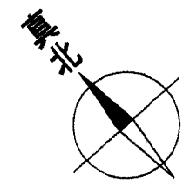
自然給気口 (給気用) 2ヶ所

バイブファン (換気用) 1ヶ所



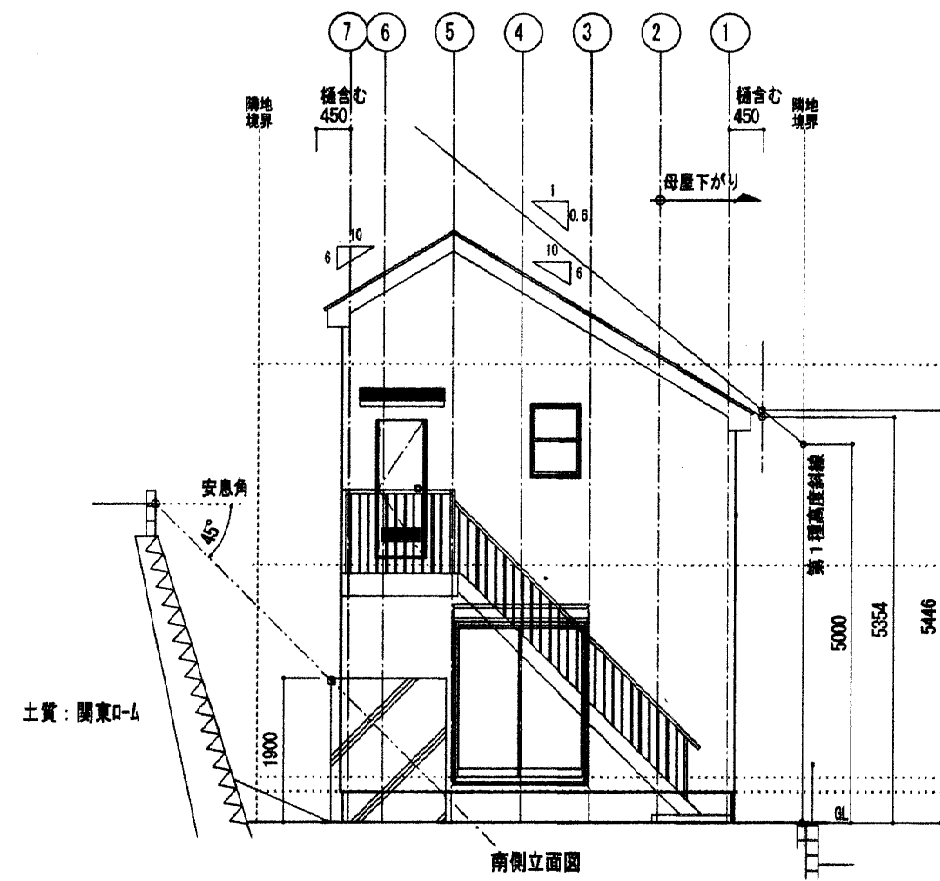
工事名称 松ヶ丘自治会館 改築工事	図面名称 2階平面図	設計 加藤進 一級建築設計事務所 一級建築士 (建設大臣登録第261246号) 加藤進	承認	担当	敷地面積 107.31㎡	図面番号
	縮尺 1:50				日付 25.08.21	

	通し柱 120×120 (完成材)	
	出隅柱 120×120 (完成材)	
	管柱 120×120 (完成材)	
	筋違い 45×90	
	筋違い 45×90 + 構造用合板 厚9	
	構造用合板 厚9 (片面)	
	24h換気自然給気口 100φ (鋼製防火覆い付)	
	24h換気排気ファン 100φ (鋼製防火覆い付)	
	換気扇(700×370) 換気径 25cm 覆付金属フード ※300×370の場合は前面取付優先とする ※防火・準防火地域の場合はF.D付とする。	
	給気口100φ (鋼製防火覆い付)	
	エアコン設置位置	
	煙式火災報知器	
サッシ表記		
サッシ記号	呼称寸法	ガラス記号
F	FIX窓	ア… 網入ガラス 6.8mm
T	縦すべり出し窓	ト… 透明ガラス
T <sub>o</sub>	縦すべり出し窓 (パレト型)	カ… 複ガラス(7割9割)
U	内開し窓	ベ… ペアガラス
S	すべり出し窓	
A	上げ下げ窓	
R	ルーバーサッシ	M… 面格子
※RHは、床面よりサッシ上端内法を示す ※特記のないサッシはRH=2000とする		
※防火・準防火地域の外部に面する開口部は 全て防火戸(大臣認定品)とする。		
特記事項		
特記なき出入口は段差無しとする		
階段手摺の寸法は壁面ヨリ100mm以下とする		
ドアは換気対応製品(下地厚約10mm)とする		
建具・設備機器は全てF☆☆☆☆とする		
濡し前は耐水石膏ボードを使用		
コンロと壁面とは15cm以上離し、上部80cm以上 100cm未満(80cm未満は設置不可)のフード・ 吊戸棚は不燃材等による有効な仕上げとする		

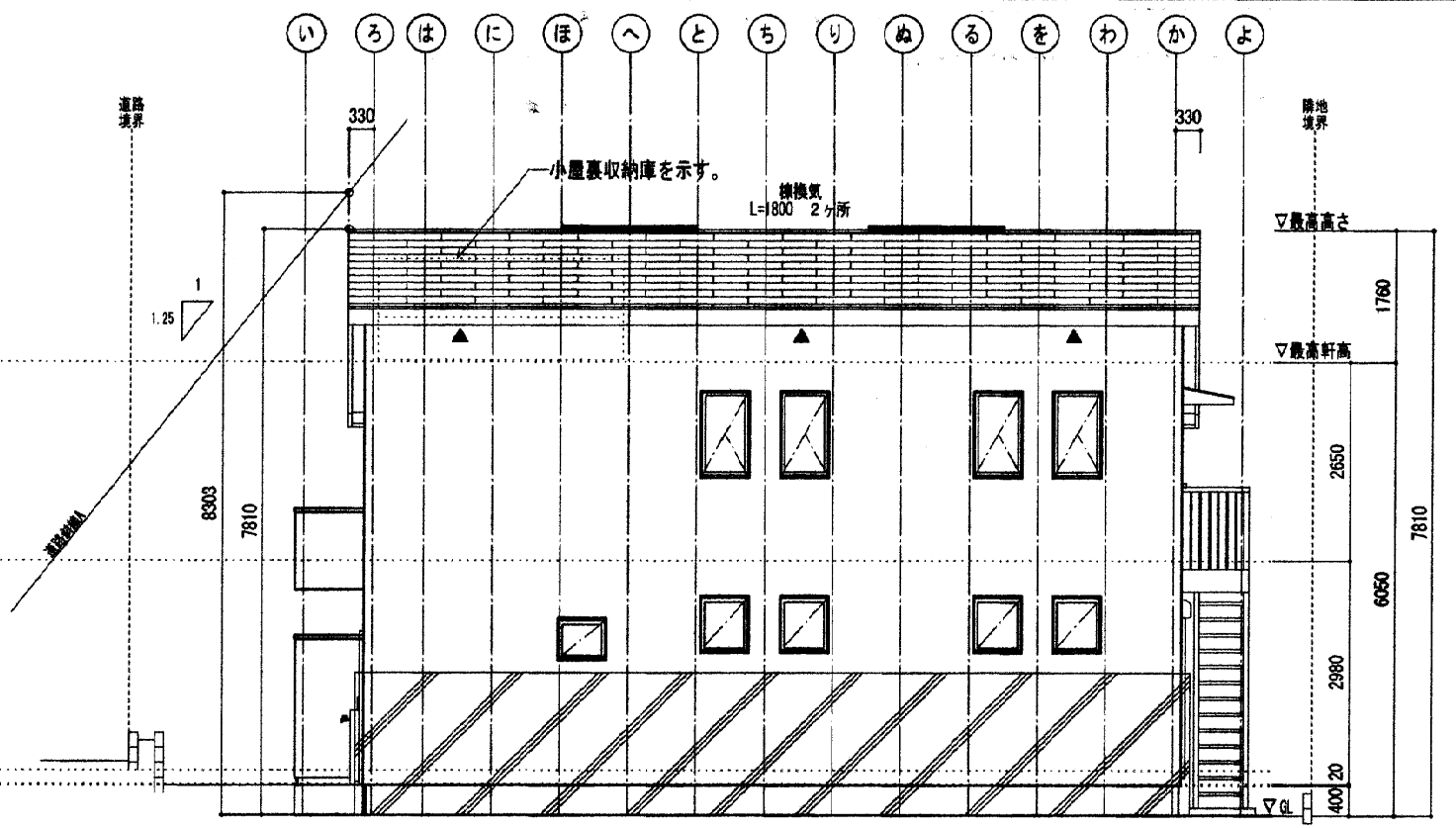


工事名称 松ヶ丘自治会館 改築工事	図面名称 小屋裏収納庫平面図	設計 加藤 進 一級建築設計事務所 一級建築士(建設大臣登録第261246号)加藤 進	承認	担当	敷地面積 108.02㎡	図面番号
	縮尺 1:50				日付 25.08.21	
					2階 53.55㎡	
					延床面積 107.10㎡	

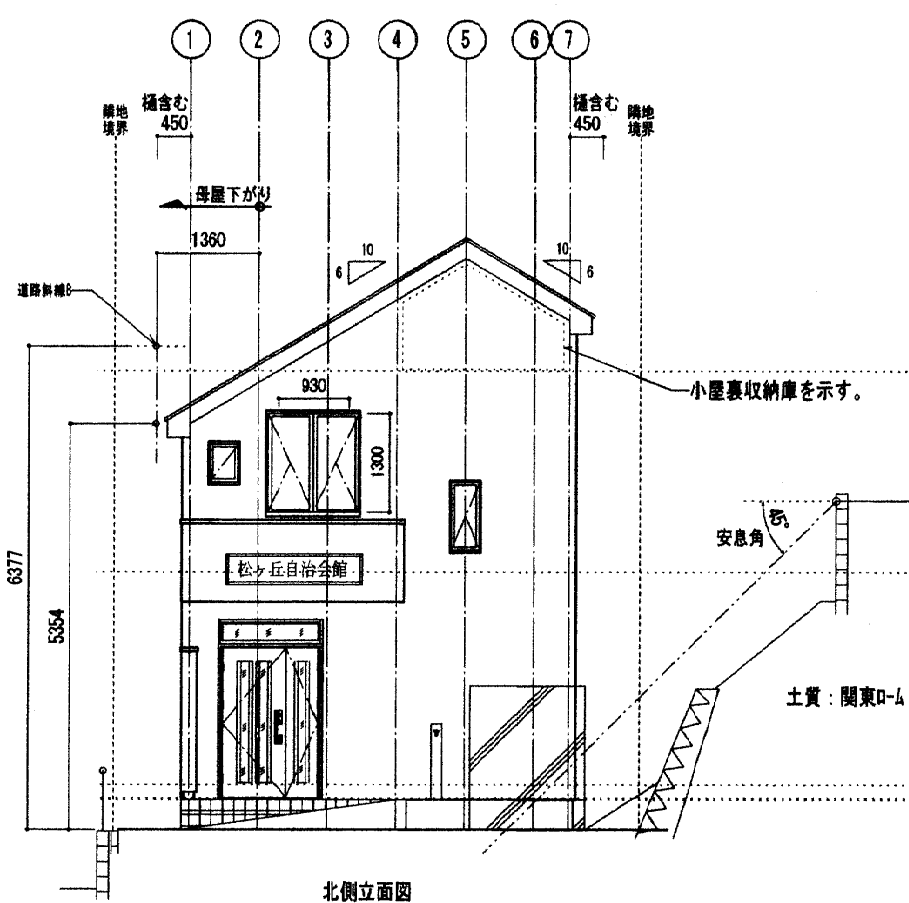
換気 (図面参照)	
天井面積の1/1600以上設置	
有効換気面積	0.024㎡/L=1800
	0.012㎡/L=900
	0.020㎡/L=900(瓦用)
	0.006㎡/L=455(片流れスレート葺き)
必要面積	53.55 ÷ 1600 = 0.034
有効面積	0.024 × 2 = 0.048
	0.034 < 0.048 ∴ OK
軒裏換気口 (▲印)	
天井面積の1/250以上設置 (換気・換気併用の場合は1/900)	
有効換気面積	FD面 (80LN) 0.016㎡/個
	FD付 (80LN-FD) 0.016㎡/個
必要面積	53.55 ÷ 900 = 0.060
有効面積	0.016 × 6 = 0.096
	0.060 < 0.096 ∴ OK
第1種高度斜線検討	
斜線高	742 × 0.6 + 5000 = 5446
軒先高	6050 - (1380 × 0.6) + 120 = 5354
	5446 > 5354 ∴ OK
道路斜線A検討	
斜線高	6402 × 1.25 + 300 = 8303
軒先高	最高高さ 7810
	8303 > 7810 ∴ OK
道路斜線B検討	
斜線高	5317 × 1.25 - 270 = 6377
軒先高	6050 - (1380 × 0.6) + 120 = 5354
	6377 > 5354 ∴ OK
平均GL算定	
周長	
見付面積	
平均GL	
特記事項	



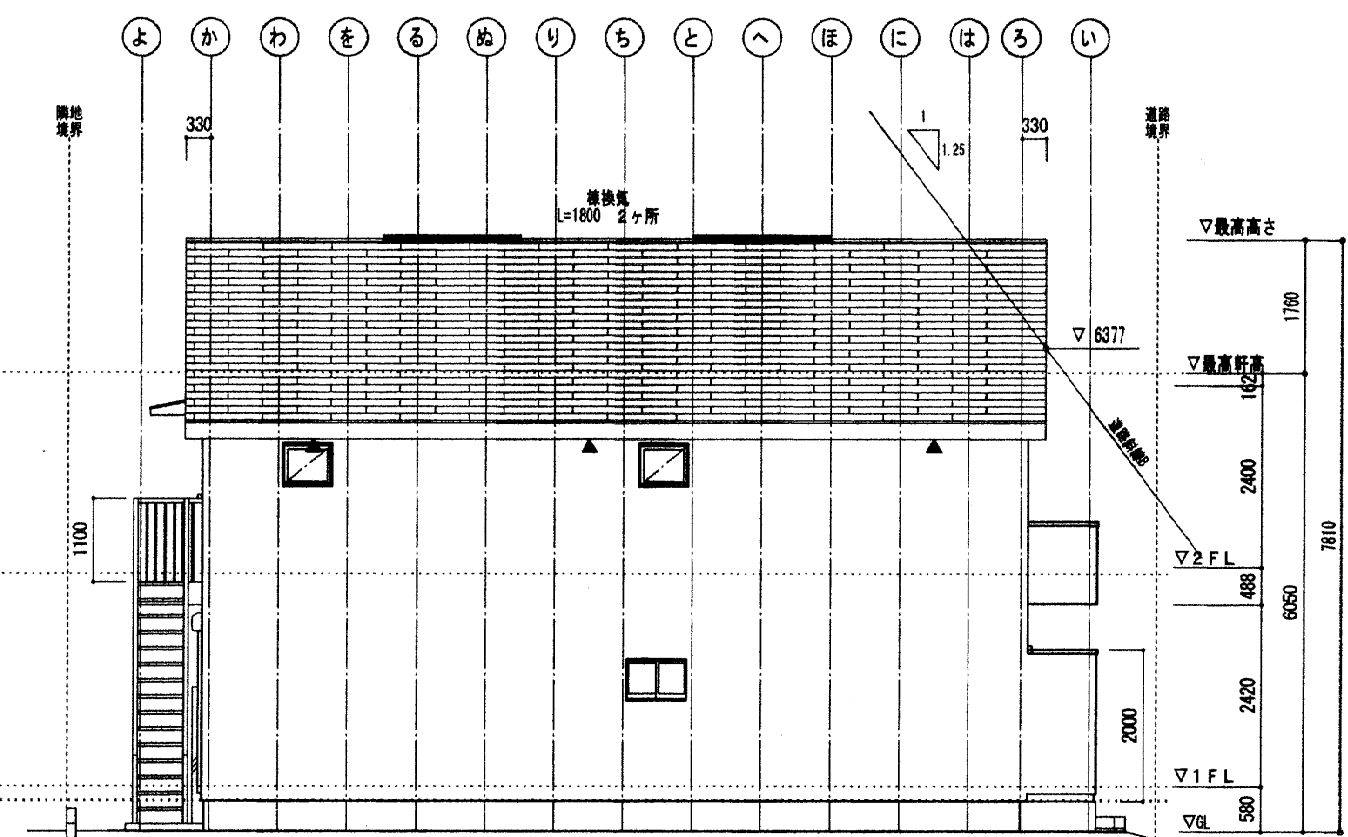
南側立面図



西側立面図



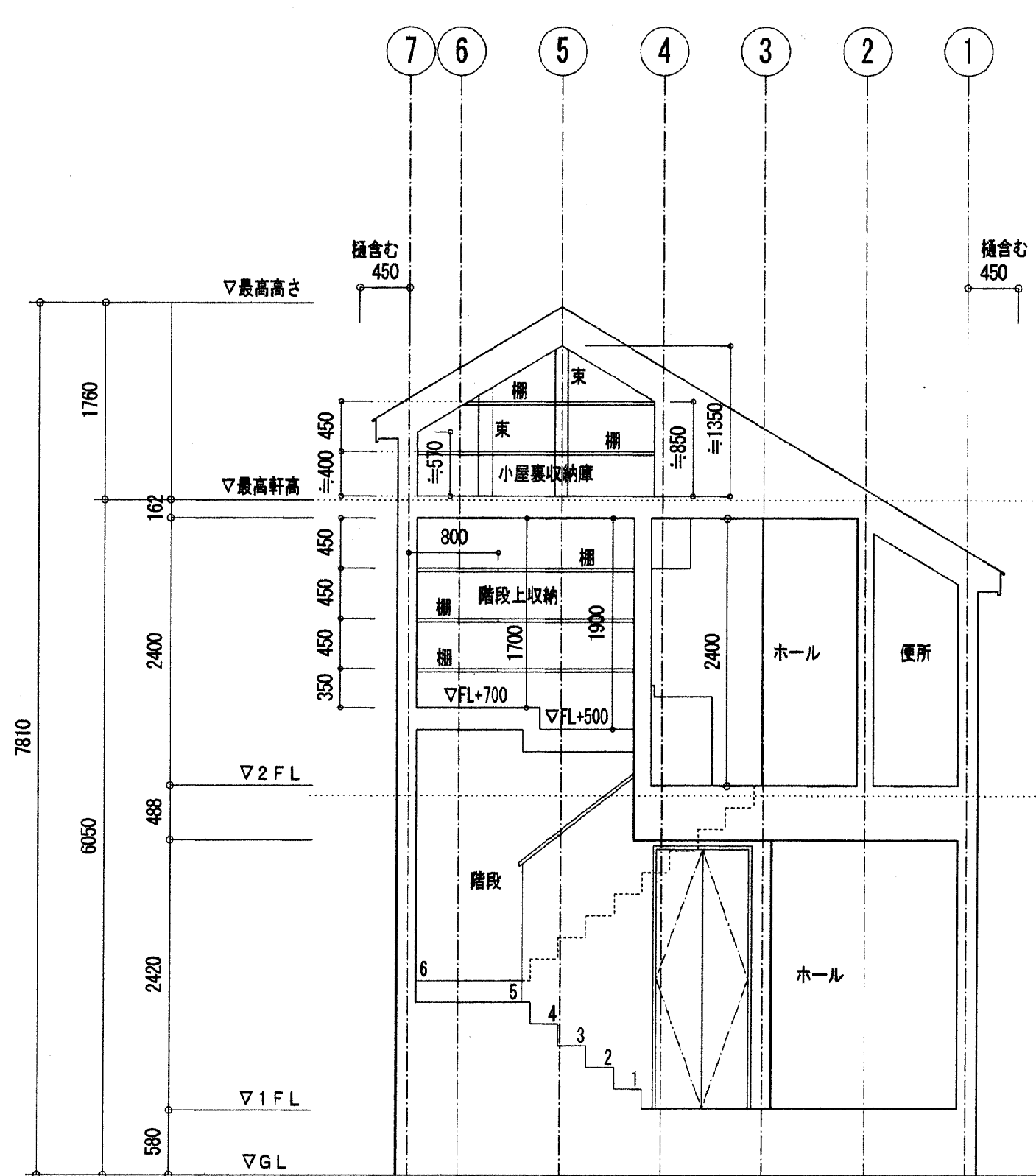
北側立面図



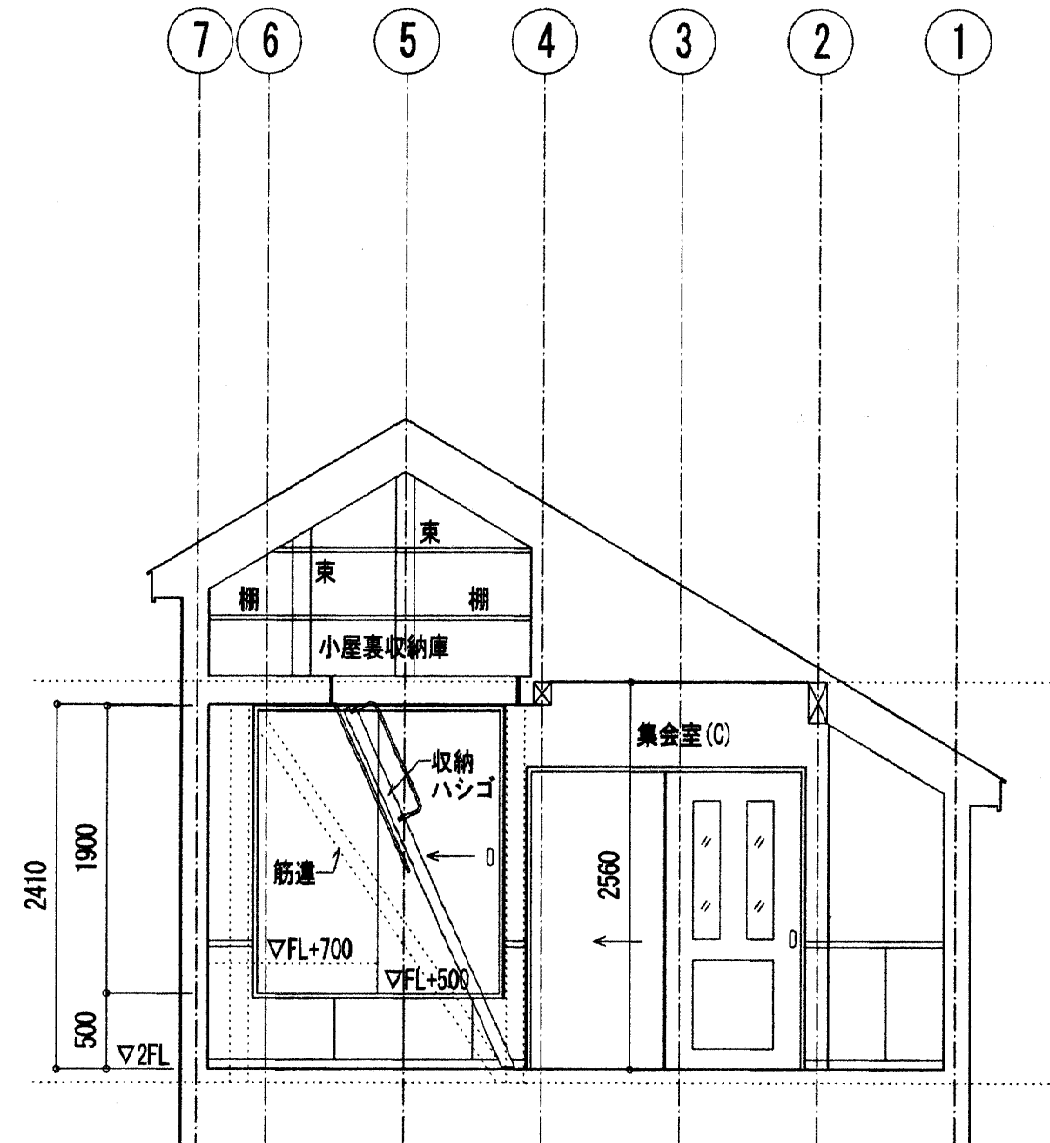
東側立面図

工事名称 <b>(仮称) 松ヶ丘自治会館 新築工事</b>	図面名称 <b>立面図</b>	設計 <b>加藤 進 一級建築設計事務所</b> 一級建築士 (建設大臣登録第261246号) 加藤 進	承認	担当	図面番号
	縮尺 <b>1/100</b>				





A-A' 断面図 1/50



B-B' 断面図 1/50

工事名称 松ヶ丘自治会館 改築工事	図面名称 断面図		設計 加藤 進 一級建築設計事務所 <small>一級建築士 (建設大臣登録第261246号) 加藤 進</small>	承認 担当	図面番号
	縮尺 1/50	日付 25.08.21			

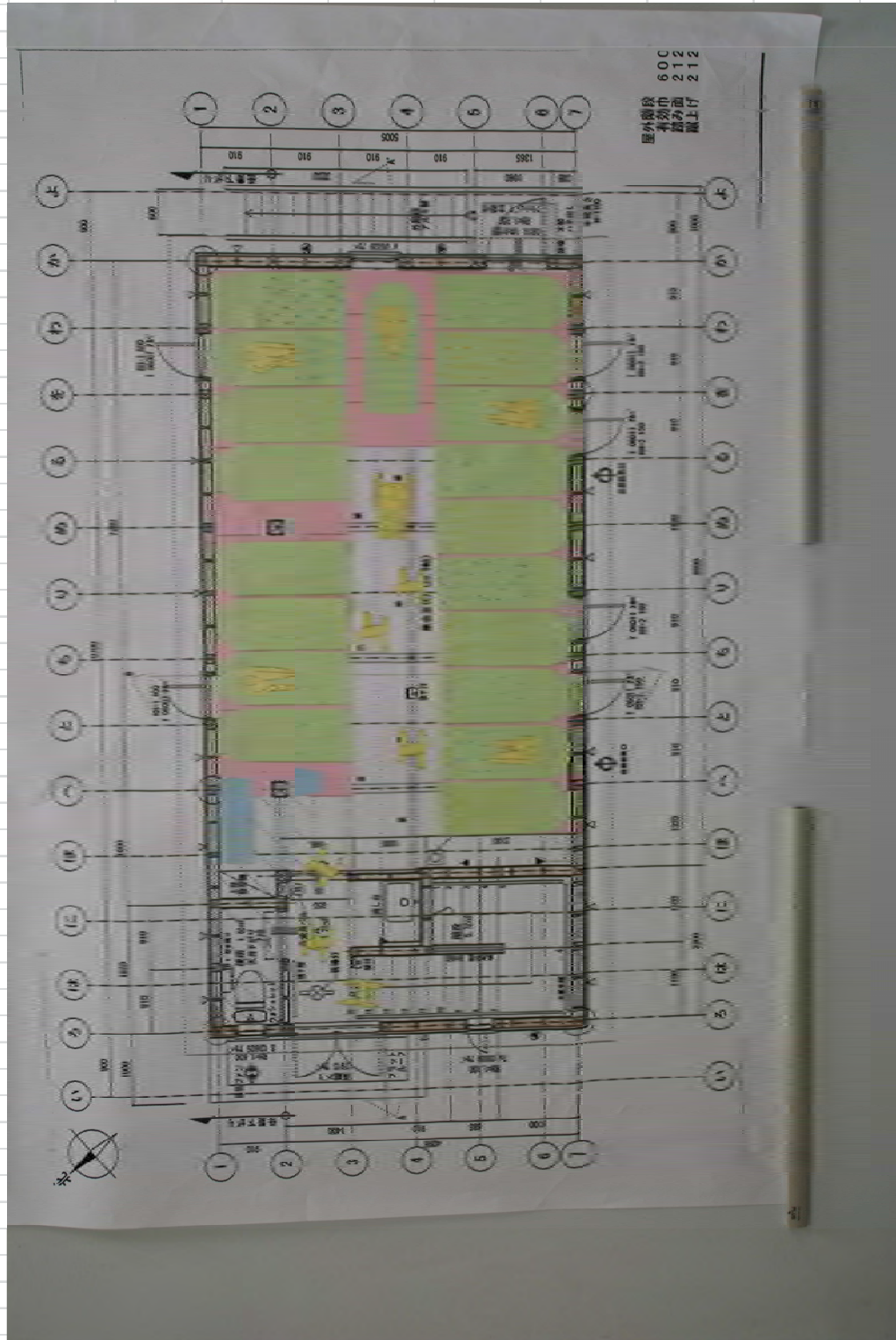




松ヶ丘自治会 「まち普請事業」活動状況報告

月 日	時 間	出席者	会議名	会 議 内 容
7月31日	10時～	10名	まち普請	① 活動助成金について ②2次コンテストの要領について ③倉庫の設計について ④コーディネーターの選任について
8月3日	18時～	33名	理事会	第2次コンテストに向けて、会員有志の増員について協議
8月20日	10時～	5名	橋本先生(コーディネーター)の第1回打合せ	松ヶ丘自治会の活動履歴の作成について指示があった。
8月28日	13時～	3名参加	まち普請	24年度グループの経験説明会に参加
9月8日	10時～	12名	まち普請	※ 防災と集会所の活用について ① 集会所とは ②松ヶ丘自治会の活動履歴について ③案内サイン板について
9月25日	10時～	9名	まち普請	① 倉庫の設計見積について ②案内サイン板について 添付資料 ウコギについて 10月6日の懇談会資料について
10月5日	10時～	13名	まち普請	① 倉庫の設計見積について ②案内サイン板について ③ウコギについて ④その他
10月12日	10時～	55名	理事・評議員委員・役員	① 総参加防災訓練について ② まち普請事業について 説明・アンケートの実施
10月30日	10時～	9名	まち普請	① 「物」と「人」のキットの配置について ② 提案書(素案)について ③チラシについて
11月13日	10時～	15名	まち普請	①提案書(案)について ②「物」と「人」のキットの配置について ③ プレゼン用資料作成の日程について
11月22日	9時30分	8名	模型づくり	①会館 2階倉庫 天井裏倉庫の模型づくり ②災害時に2階に何名収容できるかのキットづくり
11月27日	10時～	9名	まち普請	① 提案書最終(案)について ② プレゼンテーション資料資料づくりの進め方について
12月8日	10時～		まち普請予定	プレゼンテーション資料づくり
12月18日	10時～		まち普請予定	プレゼンテーション資料づくり
1月17日	10時～			審査委員の現地視察
1月19日	10時～		まち普請予定	プレゼンテーション資料づくり
2月2日				第2次プレゼンテーション

会館2階ホールの災害時の活用法



会館1和室・洋室の災害時の活用法

